

収集資料一覧Ⅰ（明治・大正期）

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 明治17年、東洋英和女学校設置願及開校願等の諸届(写) | 13. オルガン科修了証 |
| 2. 明治18年、規則改正及教員増加の届(写) | 14. 道具箱 |
| 3. 学則、TOYO EIWA JOGAKKO
1884年-1909年(写) | 15. 写真一覧 |
| 4. 日本メソジスト教会年会第二回東部記録より
ミス・ブラックモアの報告(写) 明治42年 | a. 明治初期の生徒 |
| 5. カナダメソジスト教会婦人ミッション年会報告より長野県の幼稚園(写) 1895-1920年 | b. 新校舎全景 |
| 6. 明治43年天長節祝賀大文学会プログラム | c. 明治中期の生徒(予科・幼稚科) |
| 7. 明治43年地久節祝賀大文学会プログラム | d. 明治後期の小学科全員 |
| 8. 大正8年12月東洋英和女学校創立35年祝賀記念同窓会々報 | e. カナダの宣教師の方々 |
| 9. 修業証書(明治41~44年) | f. 寄宿舎の生活 |
| 10. 卒業証書(明治45年、大正8,11,13年) | g. ミス・ブラックモアと大正期の小学生 |
| 11. 卒業式プログラム(大正9,11年) | h. 大正時代の生徒 |
| 12. クラス・ディナーのメニュー | i. 初めての修学旅行-日光-(大正9年) |
| | j. 西洋料理の実習(明治33年) |
| | k. 職員会-絵ハガキ-(大正3年) |
| | l. 卒業写真(明治45,大正8,11,13年) |

次の資料をさがしています

1. 都史紀要9. 東京の女子教育 S. 36年 東京都発行
2. The Annual Reports of The Womans Missionary Society of The Canadian Methodist Church
3. TOYO EIWA JOGAKKO CALENDAR
4. 明治大正期の学校生活、カリキュラム等が知ることの出来る資料
5. 戦時中の学校生活がわかるもの

あ と が き

主の恵みと導きのもとに、東洋英和女学院の歩みが少しずつあきらかにされてきている。皆様のご協力感謝申し上げます。先人達から多くを学び勇気と励ましを与えられます。よきクリスマスをお迎え下さい。

(中野・朽木・栗原・高橋一中高部)

東洋英和女学院設立申請書より

①

七十年誌には、「創立まで」及び「創立の頃」の項に「(上略)設立認可を申請すると共に」又は「明治17年(1884)9月東洋英和女学校の設立認可が下り(下略)」とありますが、その申請書(明治17年9月22日付)が、東京都公文書館(港区浜松町)に収納されていたので、(写真)その「私立学校設置願」の一部を御紹介致します。

一、設置目的 当校ハ□倫道徳ヲ本トシ修身科ヲ始メ別表ニ列記セシ各学科及ビ英文ノ教科ヲ教授シ、優良ナル婦女ヲ育成スルヲ目的トス

一、名 称 東洋英和女学校

一、位 置 東京府下麻布区東鳥居坂町十四番地

一、教授法ノ要旨

ここには、次のような教科が各説明されています。
修身学、読書、算術、地理学、家政経済学、動植物学、理化学、生理学、習字、画学、裁縫、体操、唱歌、英文学、

このうち、英文学についての説明はこうです。
英文学ハ之ヲ分テ読方、書取、会話、文法修辭、作文、習字トス。読書ヲ援クルニハ教員生徒ノ発音ヲ正シ綴字及意義ヲ暗誦セシメ又邦語ニ口訳セシメルヲ初メトシ漸次進歩シ渋帯ナク英文ノ読下スルヲ得ルニ及ヒ教員其意ヲ生徒ニ問ヒ或ハ自ラ之ヲ講シ亦筆記セシメテ英文ヲ明瞭ニ解得セシム。

次に、試業について

一、試業規則 試業ハ分テ入学定期月次ノ三種トス 入学試業ハ入学ノ際試験シソノ

栗原正己



量ニ応シ合格ノ學級ニ編入ス 定期試業ハ二月七月ノ兩度、月次試業ハ月末ニ執行スルモノトス(下略)

一、起業終業時限 毎日五時間トシ午前九時ニ始メ午後三時ニ終ル 土曜日ハ午前九時ニ始メ正午十二時ニ終ル

以下、休業日、入学退学規則、寄宿舎規則、生徒心得、生徒罰則、入学生徒学力という順に記されて居り、次に

一、入学生徒年令 満十二年以上ノ者ニ限ル
一、生徒定員 通学生二十六名寄宿生二十四名計五十名ヲ定員トス

以上までが、大体生徒に関する内容のものです。申請書は更に教職員について次のように記されています。

一、学校長教員職務心得 校長ハ校内ノ事務一切ノ件ヲ総理シ教員ハ教授ハ勿論 生徒ノ品行ニ注目シテ風儀ノ矯正ヲカムルモノトス(下略)

一、教員々数 教員四人内外国人貳名日本人貳名 但シ婦人ヲ以テ教員トス

(以下、次号につづく)